(案)

第五次国有林野施業実施計画書

(日高森林計画区)

計画期間 (自 平成 2 7 年 4 月 1 日
至 平成 3 2 年 3 月 3 1 日)

策定年月日：平成 2 7 年 3 月 日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	9
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	10
6	レクリエーションの森の名称及び区域	11
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	13
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	14
	(2) フィールドの提供	16
	(3) 森林共同施業団地	16
	(4) その他必要な事項	17

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (1) 伐採造林計画簿
伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

（単位：h a）

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	2,014	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	1,244	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	8,996	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	5,106	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	61,575	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	7,889	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	158	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	個別に定める。	
合計	86,983			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。（以下の表についても同じ）

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	170	78	1,636	849	10,263	1,315	—

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林			地		林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	6,014	(2,250) 98,126	104,140				
自然維持タイプ	—	(16) 458	458				
森林空間利用タイプ	604	(129) 4,490	5,094				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水源涵養タイプ	単層林	(729) 8,730	29,250	37,980			
	長期単層林	(522) —	19,779	19,779			
	複層林	(3,569) 16,642	138,094	154,736			
	混交林	(2,235) 853	77,673	78,526			
	育成天然林	(352) 302	16,141	16,443			
	天然生林	—	—	476			
	その他	—	—	—			
	計	(7,406) 27,003	280,937	307,940			
合 計	33,621	(9,800) 384,011	417,632	71,000	488,632	—	488,632
年 平 均	6,724	(1,960) 76,802	83,526	14,200	97,726	—	97,726

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、h a)

市町村名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
日 高 町	11,413	(2,504) 84,521	95,934			
平 取 町	14,630	(1,582) 48,754	63,384			
新 冠 町	4,763	(3,305) 148,503	153,266			
浦 河 町	-	(391) 11,773	11,773			
様 似 町	-	-	-			
え り も 町	-	(54) 1,705	1,705			
新ひだか町	2,815	(1,964) 88,755	91,570			
合 計	33,621	(9,800) 384,011	417,632			

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(h a)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	1	-	-	-	29	30
	複層林造成	112	-	8	-	247	367
	計	113	-	8	-	276	397
天然 更新	天然下種第1類	2	-	-	-	2	4
	天然下種第2類	12	-	-	-	45	57
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	14	-	-	-	47	61
合 計		127	-	8	-	323	458

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	886	57	87	-	2,064	3,094
	つる切り	191	28	16	-	352	587
	除 伐	21	4	2	-	40	67

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
日高北部森林管理署						
その他	開設	日高ホロナイ支線	281~284	2,500	1	日高町
		右左府	12, 13	1,500		日高町
		宮川の沢2号	21	1,200		日高町
		宮川の沢1号	22	2,000		日高町
		オワイタカ	23, 24	1,000		日高町
		沙流川左岸	284~286	2,500		日高町
		サンナコロ	311	1,500		日高町
		岩内	311, 313	2,500		日高町
		三岩二の沢支線	328~331	1,700		日高町
		冷水沢支線1号	56	3,300		日高町
		冷水沢支線2号	57	700		日高町
		奥沙流連絡線	81, 82	2,400		日高町
		チロ口越	267, 269, 274, 275	3,600		日高町
		鳩内1号線	2011	1,500		日高町
		蛍火1号	1014, 1015	2,000		平取町
		パンケテップ	1078, 1079, 1094	2,000		平取町
		パンケテップ支線	1076~1078	3,800		平取町
		ケイカイ沢線1号	1027~1029	1,700		平取町
		シュネナイ支線	1023, 1025	2,200		平取町
		水道の沢支線	1221, 1222	600		平取町
		水道の沢	1221, 1222	600		平取町
		竜門	1064, 1065	2,000		平取町
		天翔	1028, 1029	3,500		平取町
		ニタツナイ	1230, 1231	1,500		平取町
計	24 路線		47,800			
基幹	改良	三岩	333	100	1	日高町、落石防止工
		奥沙流	79	100	1	日高町、溝渠工
		ヌモトル	2034, 2036	210	4	日高町、溝渠工
		里平林道里平線	2056	150	1	日高町、擁壁工
		宿主別	1180, 1195, 1206, 1207	730	6	平取町、橋梁工、擁壁工
		総主別	1214, 1216	200	2	平取町、擁壁工
計	6 路線		1,490	15		
その他	改良	ウインチキナイ	201, 202	400	2	日高町、擁壁工、溝渠工
		七沢越	2048	100	1	日高町、擁壁工
		右左府	19	100	2	日高町、溝渠工
		パンケテップ	1080	300	1	平取町、溝渠工
		敷舎内	1076	150	1	平取町、擁壁工
		宿主別右股	1201	80	1	平取町、橋梁工
計	6 路線		1,130	8		
日高北部森林管理署合計						
開設	基幹	- 路線		-	1	
	その他	24 路線		47,800		
	計	24 路線		47,800		
改良	基幹	6 路線		1,490	15	
	その他	6 路線		1,130	8	
	計	12 路線		2,620	23	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
日高南部森林管理署						
その他	開設	新冠モウレル連絡線	1027~1032	7,600		新冠町
		送別	1135~1137	5,600		新冠町
		東川	2123~2125	6,600		新冠町
		東川右線	2142, 2144	300		新冠町
		ウタルカップ	2142~2146, 2148~2150	6,200		新冠町
		太陽支線	2081~2083	2,100		新冠町
		比宇	2078	1,600		新冠町
		節婦左股	2168~2170	3,960		新冠町
		春別右岸	3031~3033	3,800		浦河町
		オショロベツ	3054, 3061, 3062	4,400		浦河町
		アオダモ沢支線	3054	200		浦河町
		絵笛	3212	3,000		浦河町
		絵笛支線	3212	3,500		浦河町
		ポントウナイ	24	1,700		新ひだか町
		ネトナイ	104, 109~111	5,800		新ひだか町
		ピセナイ支線	259	1,530		新ひだか町
		ポヨップ右岸	265~267	3,900		新ひだか町
		展望	3149, 3150	3,400		新ひだか町
		赤盤	3179, 3180	4,300		新ひだか町
		赤盤峰越	3179~3181	3,100		新ひだか町
		シュットク	249, 250, 253	3,661		新ひだか町
	計	21 路線		76,251		
基幹	改良	西の沢林道盆の沢線	1121	30	1	新冠町、土留工
		新冠	1050~1053, 1062	163	2	新冠町、橋梁工、土留工
		西の沢林道太陽線	2082	20	1	新冠町、溝渠工
		コイボク	171, 172, 177	120	4	新ひだか町、法面保護工、溝渠工
		三石林道高見線	246	30	1	新ひだか町、溝渠工
		計	5 路線		363	9
その他	改良	オオトリ	1015, 1127~1129	90	1	新冠町、橋梁工、溝渠工
		東美左岸林道東美左岸線	2113	60	1	新冠町、土留工
		東川右線	2135	20	1	新冠町、橋梁工
		下新和	2076, 2077	100	2	新冠町、溝渠工、土留工
	計	4 路線		270	5	
日高南部森林管理署合計						
開設	基幹	- 路線		-		
	その他	21 路線		76,251		
	計	21 路線		76,251		
改良	基幹	5 路線		363	9	
	その他	4 路線		270	5	
	計	9 路線		633	14	
森林計画区合計						
開設	基幹	- 路線		-		
	その他	45 路線		124,051		
	計	45 路線		124,051		
改良	基幹	11 路線		1,853	24	
	その他	10 路線		1,400	13	
	計	21 路線		3,253	37	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
日高北部森林管理署				
千栄入口32林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
三オーダイ沢35林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
イオカマツ沢36~38林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
パンケヌシ川熊の沢193~196林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
ウインシキナイ右沢197~199林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
崩末沢253, 254林班	保全施設	溪間工	2箇所	日高町
パンケユクトラシナイ沢265~269林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
三島270~271林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
三号の沢288~291林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
イワナイ川 上の沢314, 332~335林班	保全施設	溪間工	2箇所	日高町
オタリマップ沢1082~1088林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
イワナイ沢1180~1181林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
パンケトボチベツ沢1182~1185林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
パンケトボチベツ沢1186~1188林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
シュンベツ沢1189~1194林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
ベンケシュクシュナイ沢1195~1201林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
パンケシュクシュナイ沢1202~1205林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
ヒクスリ沢1206林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
ペンケルナイ沢1207~1209林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
パンケルナイ沢1210~1212林班	保全施設	溪間工	1箇所	平取町
ヌキベツ本流1222~1226林班	保全施設	溪間工	3箇所	平取町
		山腹工	1箇所	
		護岸工	1箇所	
ポンヌキベツ沢1227~1229林班	保全施設	溪間工	2箇所	平取町
モイワ沢1230~1233林班	保全施設	山腹工	1箇所	平取町
鉾山の沢1101~1108林班	保安林整備	本数調整伐	10.92 ha	平取町
日高北部森林管理署計	保全施設	溪間工	27箇所	
		山腹工	2箇所	
		護岸工	1箇所	
		計	30箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	11 ha	
		計	11 ha	
日高北部森林管理署（日高南部森林管理署施工分）				
門別本流 2007~2012林班	保全施設	溪間工	2箇所	日高町
ケノマイ川 2024~2026林班	保全施設	溪間工	2箇所	日高町
ヌモトル沢 2033~2036林班	保全施設	溪間工	2箇所	日高町
ヌモトル上流 2038~2040林班	保全施設	溪間工	1箇所	日高町
ウエンテシカン下右沢 2047, 2048林班	保全施設	溪間工	3箇所	日高町
		山腹工	2箇所	
ウエンテシカン下右沢 2049, 2050林班	保全施設	溪間工	3箇所	日高町
		山腹工	1箇所	
清島防風林 2179林班	保全施設	山腹工	1箇所	日高町
門別防風林 2180林班	保全施設	山腹工	1箇所	日高町
富川防風林 2181林班	保全施設	山腹工	1箇所	日高町
日高北部森林管理署計 （日高南部森林管理署施工分）	保全施設	溪間工	13箇所	
		山腹工	6箇所	
		計	19箇所	

位置	区分	工種	計画量	備考
日高南部森林管理署				
ホロカナイ沢 19～23林班	保全施設	溪間工	1箇所	新ひだか町
ポヨップ沢 264～274林班	保全施設	溪間工	1箇所	新ひだか町
新冠川下流右岸 1004, 1005, 1010, 1011林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
オニシベツ 1144～1146林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
リビラ上右沢 2064～2066林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
リビラ下右沢 2073, 2074林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
美宇左沢 2075～2078林班	保全施設	溪間工	2箇所	新冠町
ニゴリ沢 2079, 2097～2099林班	保全施設	山腹工	1箇所	新冠町
美宇上流 2081～2084, 2092～2096林班	保全施設	溪間工	2箇所	新冠町
芽呂沢 2100～2108林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
		山腹工	1箇所	
美宇右沢 2109～2114林班	保全施設	溪間工	2箇所	新冠町
		山腹工	1箇所	
ブケマ沢 2118～2120林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
東川左沢 2121～2125林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
東川左本沢 2126～2130林班	保全施設	溪間工	1箇所	新冠町
三石越海 3207林班	保全施設	山腹工	1箇所	新ひだか町
井寒台 3213林班	保全施設	山腹工	1箇所	浦河町
えりも岬 3219～3221林班	保安林の整備	植栽工	5 ha	えりも町
		本数調整伐	15 ha	
日高南部森林管理署計	保全施設	溪間工	16箇所	
		山腹工	5箇所	
		計	21箇所	
	保安林の整備	植栽工	5 ha	
		本数調整伐	15 ha	
		計	20 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	56箇所	
		山腹工	13箇所	
		護岸工	1箇所	
	計	70箇所		
	保安林の整備	植栽工	5 ha	
		本数調整伐	26 ha	
計		31 ha		

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	日高北部森林管理署				
	日高山脈 森林生態系保護地域	既設	26,266.32	別表参照	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存を図る森林。
	(保存地区)		8,280.66		
	(保全利用地区)		17,985.66		
	計		26,266.32		
	日高南部森林管理署				
	日高山脈 森林生態系保護地域	既設	47,922.75	別表参照	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存を図る森林。
	(保存地区)		27,201.14		
	(保全利用地区)		20,721.61		
	計		47,922.75		
森林計画区計 (保存地区) (保全利用地区)	2箇所	74,189.07 35,481.80 38,707.27			
森林生物遺伝資源保存林	日高北部森林管理署				
	日高山脈西部森林 生物遺伝資源保存林	既設	6,020.76	別表参照	森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に保存し、将来の利用可能性に資する森林。
	日高南部森林管理署				
	日高山脈西部森林 生物遺伝資源保存林	既設	9,340.50	別表参照	森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に保存し、将来の利用可能性に資する森林。
	森林計画区計	2箇所	15,361.26		
林木遺伝資源保存林	日高北部森林管理署				
	北海道シウリザクラ22 林木遺伝資源保存林	既設	8.13	別表参照	日高地方の高海拔地の湿地に成育しているシウリザクラの遺伝資源の保存。
	北海道カシワ25 林木遺伝資源保存林	既設	3.88	別表参照	日高地方の海岸沿いに発達したカシワの遺伝資源の保存。
	日高南部森林管理署				
	北海道コナラ24 林木遺伝資源保存林	既設	10.00	別表参照	汎針広混交林帯樹林のコナラの遺伝資源の保存。
	北海道キタゴヨウ26 林木遺伝資源保存林	既設	9.93	別表参照	日高地方の尾根部に生育したキタゴヨウウマツの遺伝資源の保存。
	北海道ミズナラ27 林木遺伝資源保存林	既設	21.36	別表参照	汎針広混交林帯樹林のミズナラの遺伝資源の保存。
	北海道アオダモ28 林木遺伝資源保存林	既設	6.67	別表参照	日高地方の広葉樹林のアオダモの遺伝資源の保存。
	北海道カツラ29 林木遺伝資源保存林	既設	0.67	別表参照	日高地方の代表的な天然林のカツラの遺伝資源の保存。
	森林計画区計	7箇所	60.64		

種 類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
植 物 群 落 保 護 林	日高北部森林管理署				
	日高エゾマツ保護林	既設	1.00	別表 参照	エゾマツを主とする林分で、昭和29年 風倒の害を免れた林であり、亜高山帯に 生育するエゾマツ林として学術参考とな る森林。
	幌尻原生林保護林	既設	52.17	別表 参照	過去に施業が行われていない林分をそ のまま保存して、その林況の推移を知り、一般施業区との比較照査に役立てる 森林。
	森 林 計 画 区 計	2箇所	53.17		
森 林 計 画 区 合 計	13箇所	89,664.14			

(2) 緑の回廊の名称及び区域
該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
自然観察教育林	日高北部森林管理署									
	日高自然の森 自然観察 教育林	既設	1,081.62	別表 参照	広葉樹の大径材を主とした天然林が多く、ハイキングコース、キャンプ場等の施設が整えられ、昆虫採取・野鳥・樹木・化石等の観賞もできるなど自然環境に恵まれている。また、治山事業のPRの場として「日高治山の森」を設定し、自然教育の場として活用されている。	複天 主伐 14.15 ha 間伐 24.88 ha	本館外 (国立日高青少年自然の家) 車道 (日高町)		保健機能森林に該当する森林	
	日高南部森林管理署									
自然観察教育林	井寒台の森 自然観察 教育林	既設	65.08	別表 参照	市街地から近い広葉樹の天然林で、野鳥の種類も多く確認されており恵まれた自然環境にある。また、展望台からは眼下に港、町並みが、さらに大平洋や広大な牧場、日高連峰の雄大な眺望など、大パノラマが展開し、自然科学教育、愛林思想の啓蒙の場として多くの町民に利用されている。	複天 間伐 0.3 ha	道路外 (国及び浦河町) 園地外 (国及び浦河町)	指導標	保健機能森林に該当する森林	
	森林計画区計		2箇所	1,146.70						
野外スポーツ地域	日高北部森林管理署									
	日高国際スキー場 野外スポーツ地域	既設	156.52	別表 参照	日高山脈を背景に周囲がレクリエーションの森「日高自然の森」であり、日高北部唯一の整備されたスキー場として利用されている。	複天 間伐 13.98 ha	スキー場外 (日高町)			
森林計画区計		1箇所	156.52							
風景林	日高北部森林管理署									
	日高竜門 風景林	既設	17.38	別表 参照	広葉樹主体の天然林で、岩石地の急傾斜地である。奇岩に富む岸壁は迫力があり、特に、紅葉の景観は優れ利用者も多い。					

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風景林	日勝峠風景林	既設	67.61	別表参照	山頂一帯は、ハイマツと高山植物で占められ、狩勝峠と共に北海道を代表する峠である。展望台からの眺望は、日高山脈、十勝平野、阿寒及び大雪連峰など雄大な景観が望め、利用も多い。	天	園地外 (日高町)			
	日高風景林	既設	331.61	別表参照	国道274号線の風致保護帯として設定され、沿線に亜寒帯性の針葉樹・ダケカンバからなる樹帯が続き、優れた景観を維持しており、観光客を魅了している。	複天 間伐 7.69 ha				
	日高南部森林管理署									
	新冠湖風景林	既設	160.08	別表参照	湖周囲に展望台、園地等の施設が完備されており、秋には針葉樹の緑と広葉樹の紅葉が湖面に映え、優れた景観をなし、利用も多い。	複天 間伐 9.22 ha	遊歩道外 (地方公共団体)			
	幌別の森風景林	既設	15.58	別表参照	市街地近郊に位置する広葉樹を主体とした天然林で、この地区では数少ない優れた自然環境を有し、花木・紅葉木も多い。また野鳥の繁殖、渡り鳥の休息地としても恵まれた環境にあることから、地元住民の利用も多い。	複天	道路 (浦河町)			
えりも風景林	既設	419.57	別表参照	えりも岬を中心とする一帯で、全域が国定公園となっている。豪壮な岬の断崖と岩礁が連なる日高耶馬溪や黄金道路、悲恋沼等多くの景勝地は北海道を代表する観光地として広く知られ、利用者が多い。	複天 間伐 54.35 ha	道路外 (国、北海道及びえりも町) レストハウス (えりも町)	管理塔			
森林計画区計		6箇所	1,011.83							

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考	
その他 (レクリエーションの 森施設敷)	日高北部森林管理署									
	幌尻山荘	既設	0.06	別表 参照	登山者の避難小屋 として利用されている。		山荘外 (平取町)			
	日高南部森林管理署									
	ペテガリ 避難小屋	既設	0.14	別表 参照	登山者の避難小屋 として利用されている。					
	奥新冠 避難小屋	既設	0.04	別表 参照	登山者の避難小屋 として利用されている。					
	新冠避難小屋	既設	0.06	別表 参照	登山者の避難小屋 として利用されている。					
	カムイ山荘	既設	0.05	別表 参照	登山者の避難小屋 として利用されている。					
森林計画区計	5箇所	0.35								
森林計画区合計	14箇所	2,315.40								

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項
 (1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
遺 伝 子 保 存 林	日高北部森林管理署				
	トドマツ日高遺伝子保存林	昭和45年	3.00	93 ろ	林木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。
	クロエゾマツ日高遺伝子保存林	昭和49年	8.41	311 は	
	日高南部森林管理署				
	キタゴヨウ浦河A遺伝子保存林	昭和51年	6.70	3190 ろ	林木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。
	キタゴヨウ浦河B遺伝子保存林	昭和51年	2.50	3083 は	
トドマツ浦河遺伝子保存林	昭和48年	4.46	3193 に		
森 林 計 画 区 計		5箇所	25.07		
保 護 英 林 樹	日高北部森林管理署				
	ヤチダモ振内101、102、103 精英樹保護林	昭和59年	0.20	1093 い3	精英樹の保存、保護を目的として設定している。
	森 林 計 画 区 計		1箇所	0.20	
検 定 林	日高北部森林管理署				
	北適応北7号 試植検定林	昭和53年	0.40	147 よ	外国からの導入樹種や在来品種の林分特性、立地適応性等を検定する林分である。
	北北16号 地域差次代検定林	昭和63年	2.31	1018 へ	一群の精英樹系統種苗が、揃って良好な生長を示す地域を判定し、種苗の配布区域を定めるための林分である。
			2.70	1018 と	
	計	5.01			
	北北21号 地域差次代検定林	平成4年	28.81	312 ろ	
	日高南部森林管理署				
	北北11号 一般次代検定林	昭和60年	1.45	2081 わ	選抜育成された精英樹系統種苗の遺伝的特性を明らかにするための林分である。
			0.31	2081 よ	
	計	1.76			
	北北17号 地域差次代検定林	昭和63年	1.83	1002 ろ	一群の精英樹系統種苗が、揃って良好な生長を示す地域を判定し、種苗の配布区域を定めるための林分である。
			2.58	1002 は	
1.43			1002 ほ		
計	5.84				
北北22号 地域差次代検定林	平成4年	3.39	73 は	選抜育成された精英樹系統種苗の遺伝的特性を明らかにするための林分である。	
森 林 計 画 区 計		6箇所	45.21		
施 業 指 標 林	日高北部森林管理署				
	亜寒帯針葉樹林 施業指標林	昭和62年	11.77	110 は	日高森林計画区の標高の高い地域には、亜寒帯性針葉樹林が広がっているが、老齢過熟木が多く、林分成長量が衰退傾向にある。このような森林に対する適正な林分の取扱いを究明し、併せて森林林業の普及・定着を図る。
			9.07	110 に	
			10.18	110 ほ	
			18.47	110 へ	
			16.59	110 と	
			1.42	110 ち	
			11.52	110 り	
			5.66	110 ぬ	
			25.44	110 る	
			27.65	110 わ	
			14.76	110 か	
			19.33	110 よ	
			17.91	110 た	
			0.45	110 れ	
7.37	110 そ				
4.94	110 つ				
計	202.53				

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考	
施 業 指 標 林	ウダイカンバ人工林 間伐施業指標林	昭和60年	3.05	1101 は	間伐時期に達している広葉樹人工林の間伐を行い、林分の健全化と収穫量の増大を図る施業を実施する。また、肥大効果を期待し伐期100年を想定して、樹冠配置等を考慮しながら形質良好な人工林に誘導する。	
	日高南部森林管理署					
	バツの森(アオダモ) 施業指標林	昭和61年	0.50	3149 に	年々減少するアオダモ資源の持続的供給を図るため、アオダモの適切な施業方法や育成技術の定着化を図る。	
			0.50	3149 ほ		
			0.20	3149 へ		
			1.55	3149 り		
			2.75	3149 る		
	計	5.50				
	新冠択伐 施業指標林	昭和30年	3.56	1143 へ	天然林に択伐を施した後の成長状態を長期的・定期的に調査し、択伐作業法について、その施業法を技術的に解明する。	
	浦河択伐 施業指標林	昭和29年	4.74	3166 に	天然林に択伐を施した後の成長状態を長期的・定期的に調査し、択伐作業法について、その施業法を技術的に解明する。	
海岸防災林 除伐施業指標林	平成2年	1.66	3219 お	えりも岬海岸防災林造成において、混交林に導くための技術体系化を進める。		
森 林 計 画 区 計		6箇所	221.04			
展 示 林	日高北部森林管理署					
	日高風害展示林	昭和49年	43.88	126 い	亜寒帯針葉樹林における風害跡地の二次林形成過程を森林施業に活用する林分である。	
	森 林 計 画 区 計		1箇所	43.88		
試 験 地	日高北部森林管理署					
	アカエゾマツ人工林 収穫試験地	平成9年	3.06	62 に	収穫試験施行要綱に基づいた試験地である。	
	日高南部森林管理署					
	トドマツ人工林 収穫試験地	昭和39年	1.29	1011 ろ	収穫試験施行要綱に基づいた試験地である。	
森 林 計 画 区 計		2箇所	4.35			
森 林 計 画 区 合 計		21箇所	339.75			

注) 備考欄の「収穫試験地施行要綱」とは、現行あるいは将来予想される施業法によって施業した場合の成長量、及び収穫量その他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する目的をもって設定した固定試験地である。

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
日高北部森林管理署		
287 い2、い3、い7、 ろ、ほ、へ、と 288 い4、い5、い7、 に～ぬ、た、う、 289 い1、い2、は、と、チ 290 い1、い4、い5、 ろ、へ、と、か1、 か2、よ、た 291 い5、ろ、と、わ	ふれあいの森 (森の少年保安官)	協定面積：248.68ha 国立日高青少年自然の家
日高南部森林管理署		
144 は 145 ろ 250 る	ふれあいの森 (希望の森)	協定面積：23.79ha 体験林業年輪クラブ
3219 3220 3221 (貸付地を除く全小班)	ふれあいの森 (えりもイキイキの森林)	協定面積：416.88ha えりも岬の緑を守る会
森林計画区計		協定面積：689.35ha
日高北部森林管理署		
1078 い4、れ、そ	遊々の森 (ホロシリの森)	協定面積：26.95ha 平取町立振内小学校
森林計画区計		協定面積：26.95ha
日高南部森林管理署		
205 の歩道 206 の歩道 209 の歩道 210 の歩道 211 の歩道	多様な活動の森 (ペテガリ岳登山道整備 等の活動)	協定面積：1.26ha 静内山岳会
森林計画区計		協定面積：1.26ha
森林計画区合計		協定面積：717.56ha

(3) 森林共同施業団地

該当なし

8 その他必要な事項

(4) その他施業群の区域及び取扱いの考え方(案⑤)

区 域	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	取扱いの考え方
日高北部森林管理署				
岩内岳周辺の 希少植物種の 分布が予想さ れる区域	新設	166.17	別表 参照	希少植物種の分布範囲等の詳細な 調査が完了し、取扱い方針が決定す るまでの間、一切の施業を見合わせ ることとする。
森林計画区合計	1箇所	166.17		